

現在、婦人科では、「胞状奇胎」に関する研究を行っています。今後の診断・治療に役立てることを目的に、胞状奇胎等の患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 研究課題名

「胞状奇胎・流産絨毛における発現プロファイルの比較」

### 1. 研究の対象

当科で行われている研究「胞状奇胎が疑われる異常妊娠における、DNA 多型解析」または「絨毛外栄養細胞における p57kip2 の発現形式についての研究」の研究に参加していただき、その際に、他の研究への使用目的で検体保存に同意していただいた方

### 2. 研究目的・方法

部分胞状奇胎の診断に有用な簡便な補助診断法はありません。そこで、部分胞状奇胎を診断する補助診断法（免疫組織診断）の確立を目指します。匿名化して保存してある絨毛組織から RNA を抽出します。網羅的に発現を評価するマイクロアレイ解析を外部受託機関に委託します。その結果得られた有用な遺伝子について全胞状奇胎・部分胞状奇胎・流産 RNA を用いて個別に、発現解析を検証します。解析は、千葉大学大学院医学研究院生殖医学研究室で行います。

研究期間： 2016年7月8日～2020年12月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類について

試料：匿名化され保存させていただいている絨毛組織

情報：病歴、DNA 多型解析による診断結果（全胞状奇胎・部分胞状奇胎・流産）等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の提供者等の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

**照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先**

**千葉大学大学院医学研究院生殖医学 講師 碓井宏和**

**千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1**

**043（226）2121 内線5312**

**研究責任者**

**千葉大学大学院医学研究院生殖医学 教授 生水真紀夫**